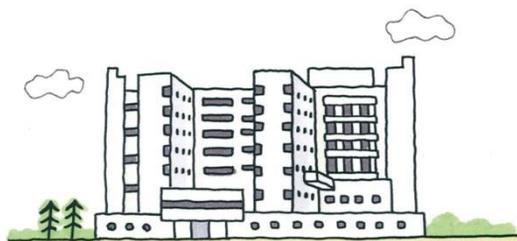


患者さんパンフレット

四国がんセンター
婦人科



パクリタキセル・シスプラチン (wTP) 療法を受けられる方へ

_____さま

主治医

受け持ち看護師

2003年5月1日 作成
2023年10月17日 改定

私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようお手伝いいたします

- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され
安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活と治療内容について理解できる
- ・化学療法中の注意事項について理解できる
- ・心身ともに治療を受けられる状態にある

<時間>	<予定>
11:00	入院 入院後に以下のことを予定しています <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食 <ul style="list-style-type: none"> ・血液検査、尿検査、胸部レントゲン、心電図 ・入院前の生活状況や身体状況の聞き取り ・禁煙の確認
	治療の流れや注意事項について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
	<お薬> 他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし、医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
	<食事> 特に制限はありません 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
	<活動> 制限はありません
18:00	夕食 <清潔> シャワー浴は時間内であればいつでも可能です
21:30	消灯 <睡眠> 眠れないときはお知らせください

薬剤師からの治療の流れや副作用の説明があります



医療スタッフの目標

- ・安心して治療を受けられるよう支援します

抗がん剤投与当日 月 日



今日の目標

- ・副作用出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- ・転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食

9:30 点滴のスケジュールは次のページをご覧ください
※抗がん剤の点滴前後で血圧、脈拍を測定します

- ・点滴が始まったら、尿量を測定しましょう
(用紙は別でお渡しします)
- ・初めてパクリタキセルの治療を受ける場合は、アレルギー症状の早期発見のためにパクリタキセル開始前からパクリタキセル終了まで胸に心電図モニターを装着します
- ・点滴中の移動は、ゆっくり行いましょう

12:00 昼食

14:00 検温

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

点滴が終了後、シャワー浴ができます
体調に合わせて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いします

18:00 夕食

19:00 検温

21:30 消灯



尿や便から抗がん剤が排泄されます
点滴をしてから2日間は1回では十分流しきれないためトイレでの排泄後はフタをして水を2回流しましょう

医療スタッフの目標

- ・抗がん剤の点滴中の副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

点滴スケジュール

9:30～ 点滴を始めます

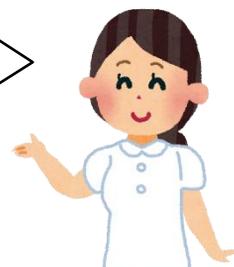
1本目	生理食塩水100mlの点滴を行います
2本目	生理食塩水50ml + アレルギー予防の薬が入った点滴を約15分で行います
3本目	吐き気止めの点滴を約30分で行います
4本目	生理食塩水250ml + パクリタキセル（抗がん剤）が入った点滴を1時間で行います
5本目	尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、500mlの点滴を約1時間で行います
6本目	生理食塩水500ml + シスプラチン（抗がん剤）が入った点滴を約2時間で行います
7本目	尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、1000mlの点滴を約2時間で行います
8本目	尿をたくさん出し、腎機能の悪化を防ぐために、500mlの点滴を約1時間で行います 終了後、針を抜きます

※抗がん剤前後の点滴は変更することがあります

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 吐き気など気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 眠気が強いとき、めまいやふらつきがあるときは、動く前にナースコールをしてください



治療後2日目～3日目
月 日～ 月 日



今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食

10:00 検温

12:00 昼食

18:00 夕食

21:30 消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いします

副作用と対策について説明します
治療2日目：脱毛について
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

★毎週金曜日は体重測定します

- ・吐き気が強いときは追加でお薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



いつでも看護師に伝えてください



尿や便から抗がん剤が排泄されます
点滴をしてから2日間は1回では十分流しきれないためトイレでの排泄後はフタをして水を2回流しましょう

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出症状の早期発見に努めます

治療後4日目～5日目
月 日～ 月 日



今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いします

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

★毎週金曜日は体重測定します

- ・吐き気が強いときは追加でお薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



いつでも看護師に伝えてください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます

治療後6日目～7日目（治療前日）

月 日～ 月 日



今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- ・心身ともに治療を受けられる状態にある

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食

10:00 検温

12:00 昼食

18:00 夕食

21:30 消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いします

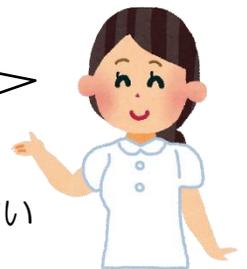
副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

★次の抗がん剤投与までに血液検査を行います

★毎週金曜日は体重測定します

- ・吐き気が強いときは追加でお薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

いつでも看護師に伝えてください



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・安心して治療が受けられるよう支援します

退院前日まで 月 日 ~ 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

★退院前に血液検査があります

★毎週金曜日は体重測定します

10:00

検温

退院後の日常生活について説明します（ 月 日）
「退院後の日常生活について」ページ参照

12:00

昼食

18:00

夕食

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します

退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

10:00 退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日 () 時 の予定です

治療後、時間が経って出現する副作用もあります
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
副作用症状について再度理解し、次の治療に向けて体調を
整えていきましょう



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・退院後の日常生活に不安が残らないよう支援します

「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください



● 関節痛・筋肉痛

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます



2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので、数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましよう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう



退院後の日常生活について

★活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は、マスクを着用し、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう



運動や趣味について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

★食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



★清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控えタオルなどで拭くようにしましょう
歯磨き・うがいをして、口の中を清潔に保ちましょう
(歯ブラシは、小さく毛の柔らかいものを使用しましょう)

★性生活について（パートナーの方も一緒に読みましょう）

パートナーとの関係について

治療を受けた後は、性生活に様々な変化が見られることがあります
退院後、パートナーとの関係に不安を持つ方も少なくありません
自分の気持ちを伝えたり、治療前の事にこだわらず話し合うことが大切です



★仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）については、医師と相談してください
これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
私たちと一緒に考えていきましょう



相談窓口

がん相談支援センター相談員

- ・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

- ・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- ・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

★お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



★その他

虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内の不具合はないか確認しましょう
治療開始後、歯科治療が必要なときは、医師に歯科受診について、ご相談ください
インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



- ◆ 38.0℃を超える発熱が続くとき
- ◆ 嘔気が続き、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆ 体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆ 四国がんセンターの連絡先 ◆

平日 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

平日上記時間外および土・日・祝日
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

平日 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



パクリタキセル・シスプラチン（wTP）療法を受けられる方へ